

9条の国米軍基地いらぬ

政権です。

これらの問題は、安倍さんが首相を辞めたからと言ってうやむやにはできません。安倍さんはもちろん、菅首相も

菅首相は就任会見で、「農家の長男として生まれた私は、一貫して地方を大切にしたい」と発言しました。しかし、官房長官であり沖繩基地負担軽減担当大臣であった菅首相がいくら「地方を大切にす

る」と言っても、それを本気で受け止める沖繩の人は誰もいないでしょう。

昨年2月の県民投票をはじめ

「辺野古」県民投票の会元代表

元山 仁士郎さん

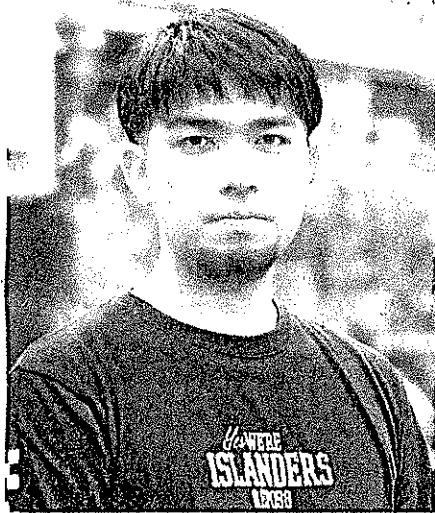
め、知事選挙や国政選挙などで「沖繩に米軍基地はいらない」という民意を何度も示しても、「辺野古が唯一の解決策」だと言って無視し、米軍新基地建設が強行されてきたからです。「丁寧に説明していく」というのも言葉だけでした。これで民主主義国家と言えるのでしょうか。

しかも米軍基地問題に限らず、沖繩県の宮古島や石垣島、鹿児島県の奄美大島へも陸上自衛隊ミサイル基地配備が強引に進められています。あらゆる面で日米の軍事一体化が進んでいることにも危機感を感じます。

憲法9条を持つ国でどのような外交・防衛を進めていくのか、何が必要で何が必要なのかというまともな議論がありません。そうした中で、沖繩などに基地強化が押し付けられることは許されません。

解散・総選挙は、市民と野党がつながりながら与党の議席を減らし、政治の方向性を根本から変える絶好の機会です。私もひとりの市民として、引き続き行動していきます。

聞き手・写真 前田智也



もとやま・じんしろう
1991年生まれ。一橋大学大学院生。

流れ
かえよう

私が選挙権を持って以来ずっと安倍政権でした。安保法制（戦争法）など国民の声を無視して強行採決を繰り返す。「森友・加計」学園問題など「政治の私物化」をした

聞き手・写真 前田智也